

チベット文明の

レジリエンス

「チベット・ヒマラヤ文明の史的展開の学際的研究」研究班 公開シンポジウム

幾度も存亡の危機を経験してきたチベット文明。
そのたびに再生し、影響力を拡大してきたチベット文明の「力強さ」、
あるいは「レジリエンス」の秘密はどこにあるのでしょうか？
本シンポジウムでは、この問題についてさまざまな視点から検討します。

午前の部 10:00～12:00

- ◆ 岩尾一史（神戸市外国語大学）
「趣旨説明」
- ◆ 井内真帆（神戸市外国語大学）
「チベット史の転換期としての仏教伝播」
- ◆ 小松原ゆり（明治大学）
「ガンデンポタンの成立と周辺諸国への波及」
．．．．休憩．．．．
- ◆ 質疑応答・ディスカッション

午後の部 13:30～17:00

- ◆ 別所裕介（広島大学）
「ポスト王政期ネパールにおける“仏教の政治”と
チベット仏教の社会進出」
- ◆ 根本裕史（広島大学）
「チベット古典文学の再創造」
- ◆ 小西賢吾（金沢星稜大学）
「ボン教のレジリエンス：人・自然・思想のつながりから」
．．．．休憩．．．．
- ◆ 質疑応答・ディスカッション
- ◆ ラウンドディスカッション
「チベット文明の特質」



◆ コメンテーター ◆

- 石濱裕美子（早稲田大学）*予定
- 大川謙作（日本大学）
- 小野田俊蔵（佛教大学）
- 長野泰彦（国立民族学博物館名誉教授）